

業績説明会資料

# 経営の現況について

2018年5月24日

 **日油** 株式会社

# 本日の報告内容

 2019中期経営計画

 2019中期経営計画の進捗状況



# 2019中期経営計画 (2017年度～2019年度)

# 日油グループの目指す分野

## ライフサイエンス分野

- ワクチン用材料
- ペプチド医薬用修飾剤
- タンパク質医薬用修飾剤
- 医療用ハイドロゲル材料
- アンチエイジング材料
- アミノ酸活性化剤
- 化粧品原料
- 医療用栄養食
- 健康食品
- 食用油脂
- 脂肪酸誘導体
- (メタ)アクリル酸誘導体
- 有機過酸化物
- EO・PO誘導体
- 推進薬・発射薬
- 産業用爆薬
- 遺伝子治療用材料
- 核酸医薬用脂質
- 抗体医薬用修飾剤
- オーラルケア用材料
- 点眼薬用材料
- コンタクトレンズ材料
- 再生医療用材料
- 診断薬用添加剤
- アイケア製品

## 電子・情報分野

- プリントドエレクトロニクス材料
- 導電性インク
- RFIDタグ
- レジスト材料
- 導電ペースト用添加剤
- 光重合開始剤
- 高機能接着剤
- 金属微粒子用バインダー
- コンデンサ用材料

## 環境・エネルギー分野

- 生分解性潤滑油
- 高機能防錆剤
- 機能性ハードコート剤
- 花粉抑止剤
- 機能性エラストマー
- 高機能防曇剤
- 海洋開発機器
- 水系防錆剤
- 蒸気圧破碎剤
- 水処理膜用薬剤
- 機能性添加剤
- 冷凍機用潤滑基材
- 環境対応型凍結防止剤

## コア技術

既存製品

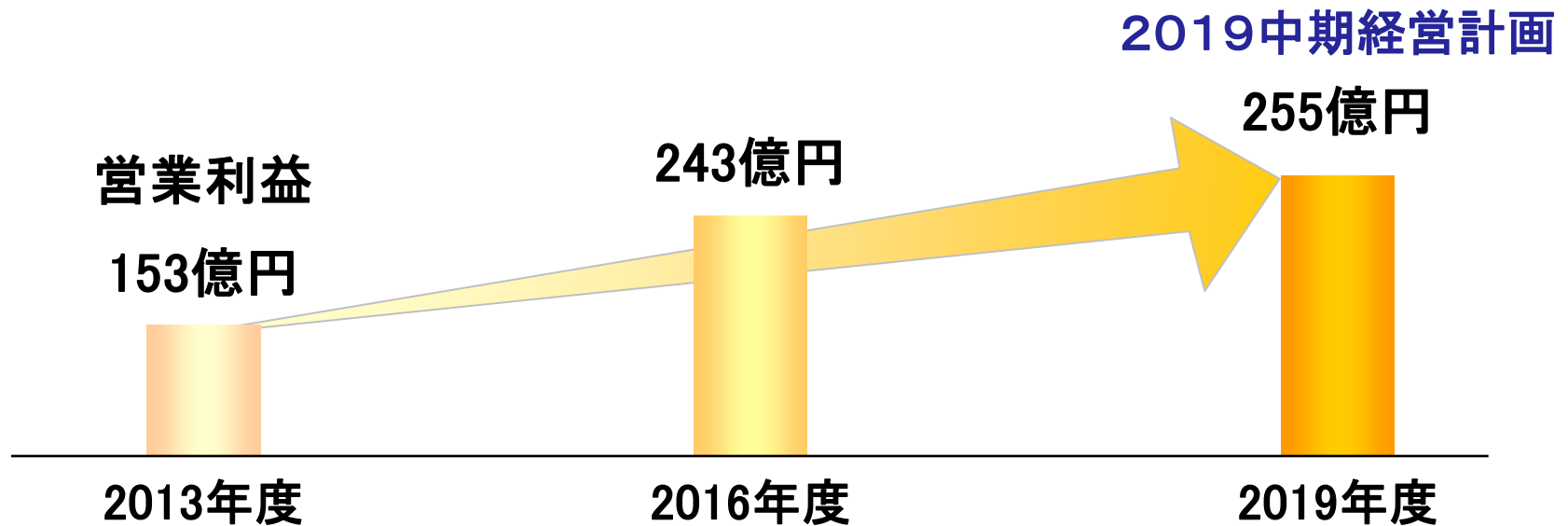
新規開発品

新技術の開発  
次世代新製品

# 日油グループの目指す姿

## ビジョン(ありたい姿)

人々の豊かな暮らしを育むため、ライフサイエンス、電子・情報、環境・エネルギーの3分野において、多彩な製品をグローバルに提供し続ける企業グループ



# 2019中計の基本方針

## 革新的価値の創造と拡大

### 重点課題

1 新製品・新市場の創出

2 生産性の向上

3 グループ経営の強化

4 CSR活動の推進



## 2019中期経営計画の進捗状況

# 2018年度 日油グループを取り巻く 想定事業環境

## 【経済見通し】

- 国内経済は緩やかな景気拡大
- 海外経済は欧米を中心に緩やかな拡大基調

## 【リスク要因】

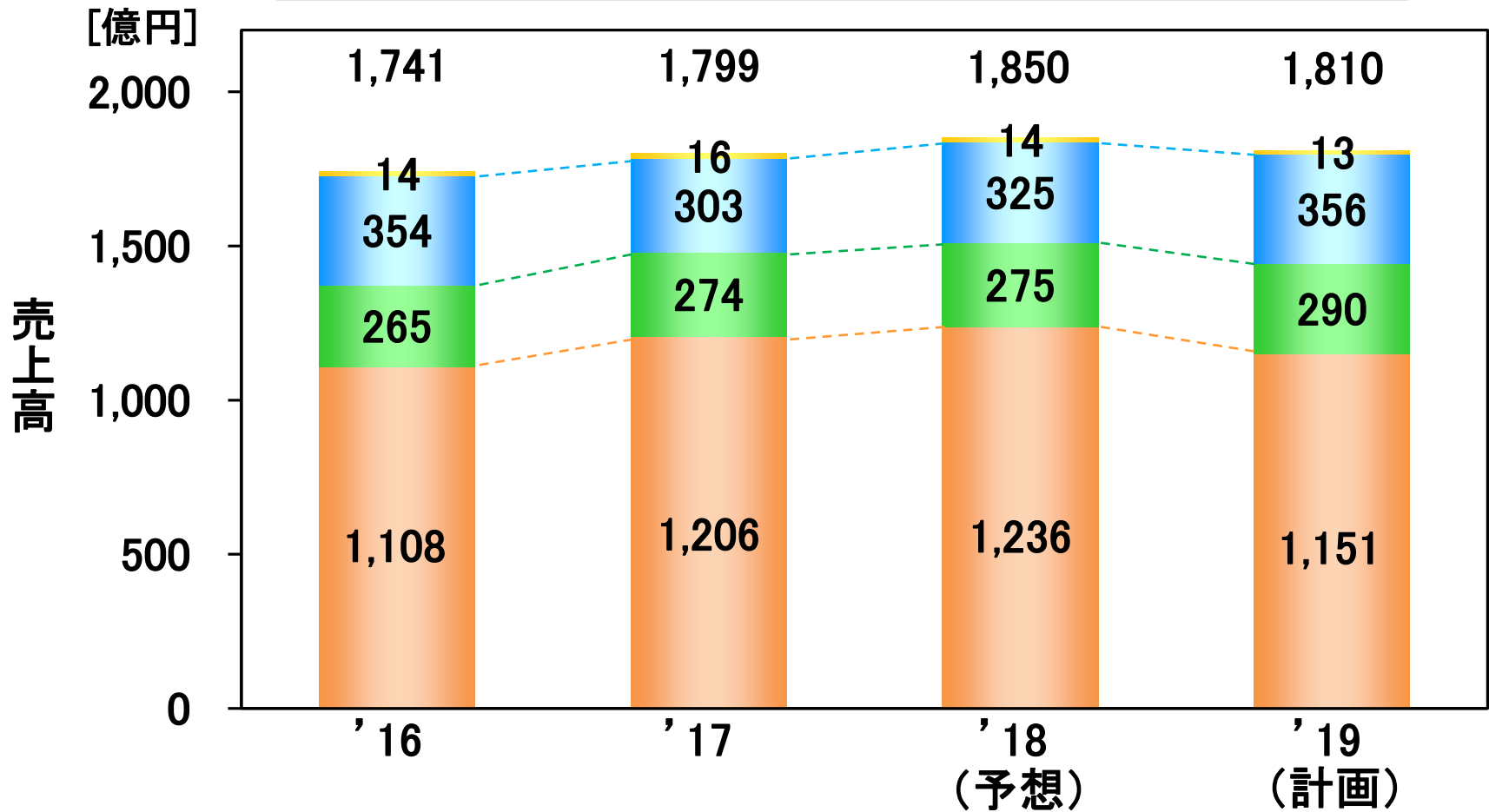
- 国際的な政治情勢、金融政策の動向
- 原燃料価格の上昇
- 為替変動

		2019中計 (想定)	2017年度 (実績)	2018年度 (想定)
パーム油 (FOBマレーシア)	US\$/MT	700	636	640
国産ナフサ	円/KL	37,500	41,700	46,000
為替レート	円/US\$	110	111	105
	円/EUR	120	130	130



# セグメント売上高の推移

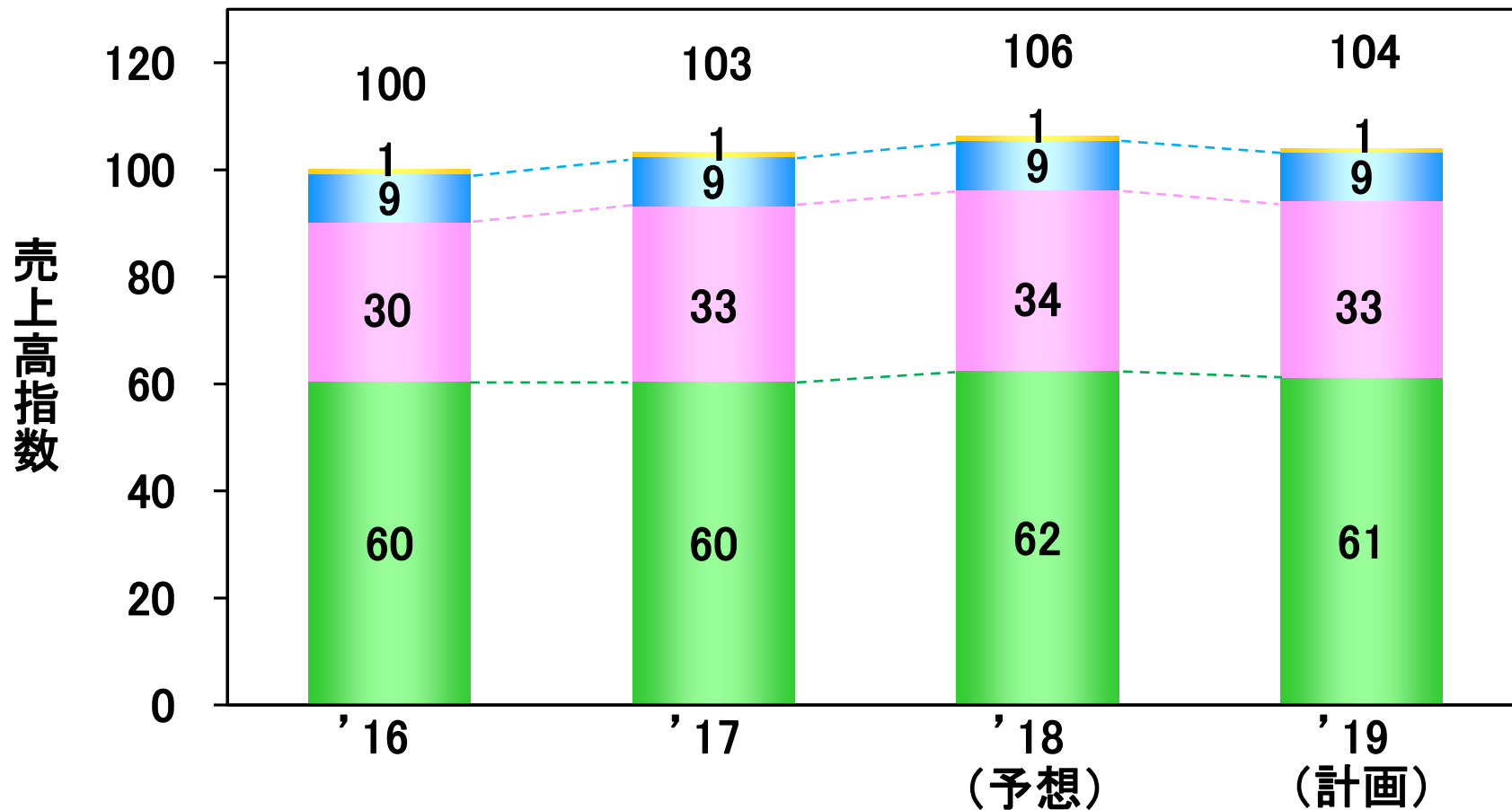
■ 機能化学品 ■ ライフサイエンス ■ 化薬 ■ その他



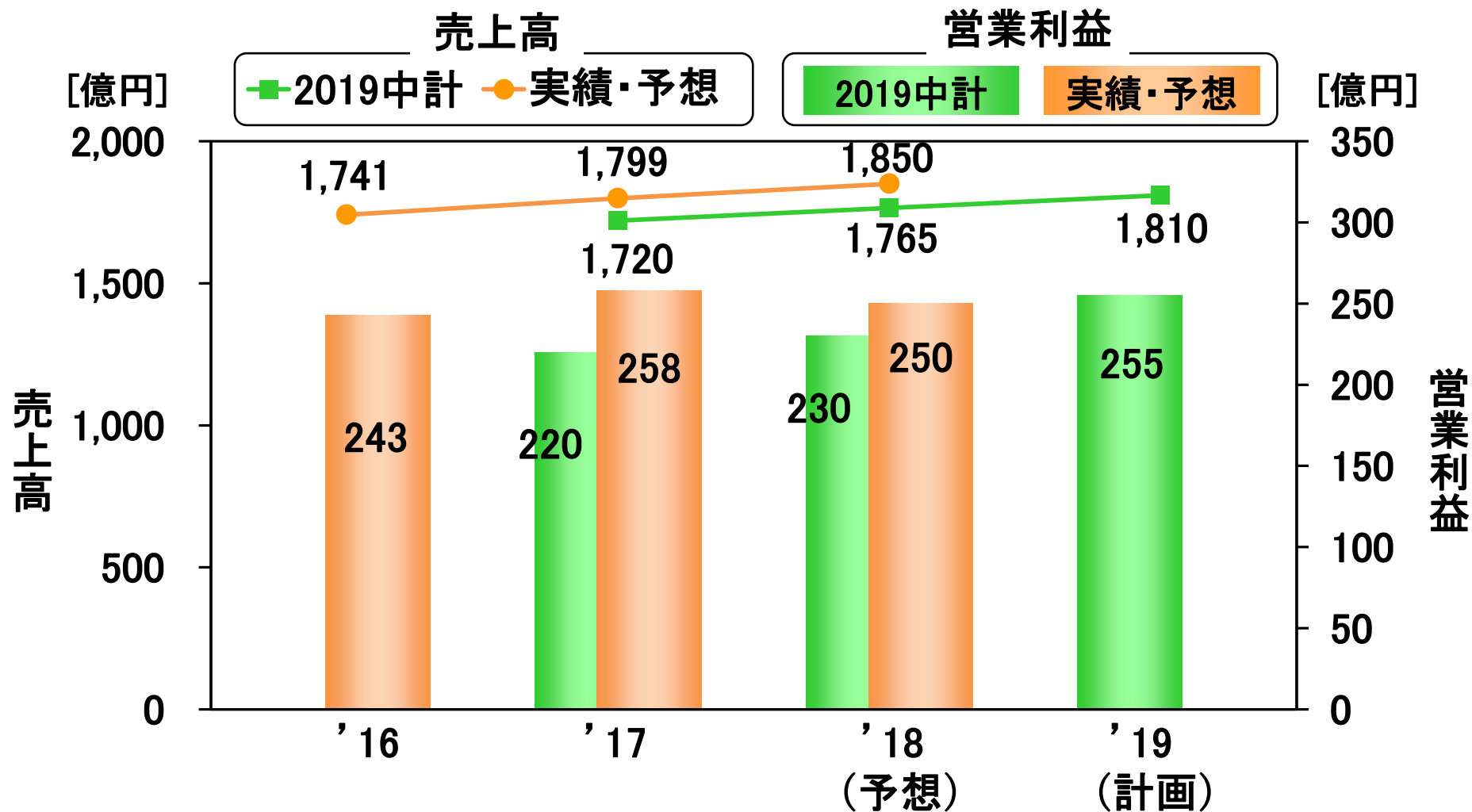
# 分野別売上高の推移

[2016年度売上高を100とする]

■ 環境・エネルギー ■ ライフサイエンス ■ 電子・情報 ■ その他



# 売上高・営業利益の推移



# 2019中計の重点課題

## 重点課題

1

新製品・新市場の創出

2

生産性の向上

3

グループ経営の強化

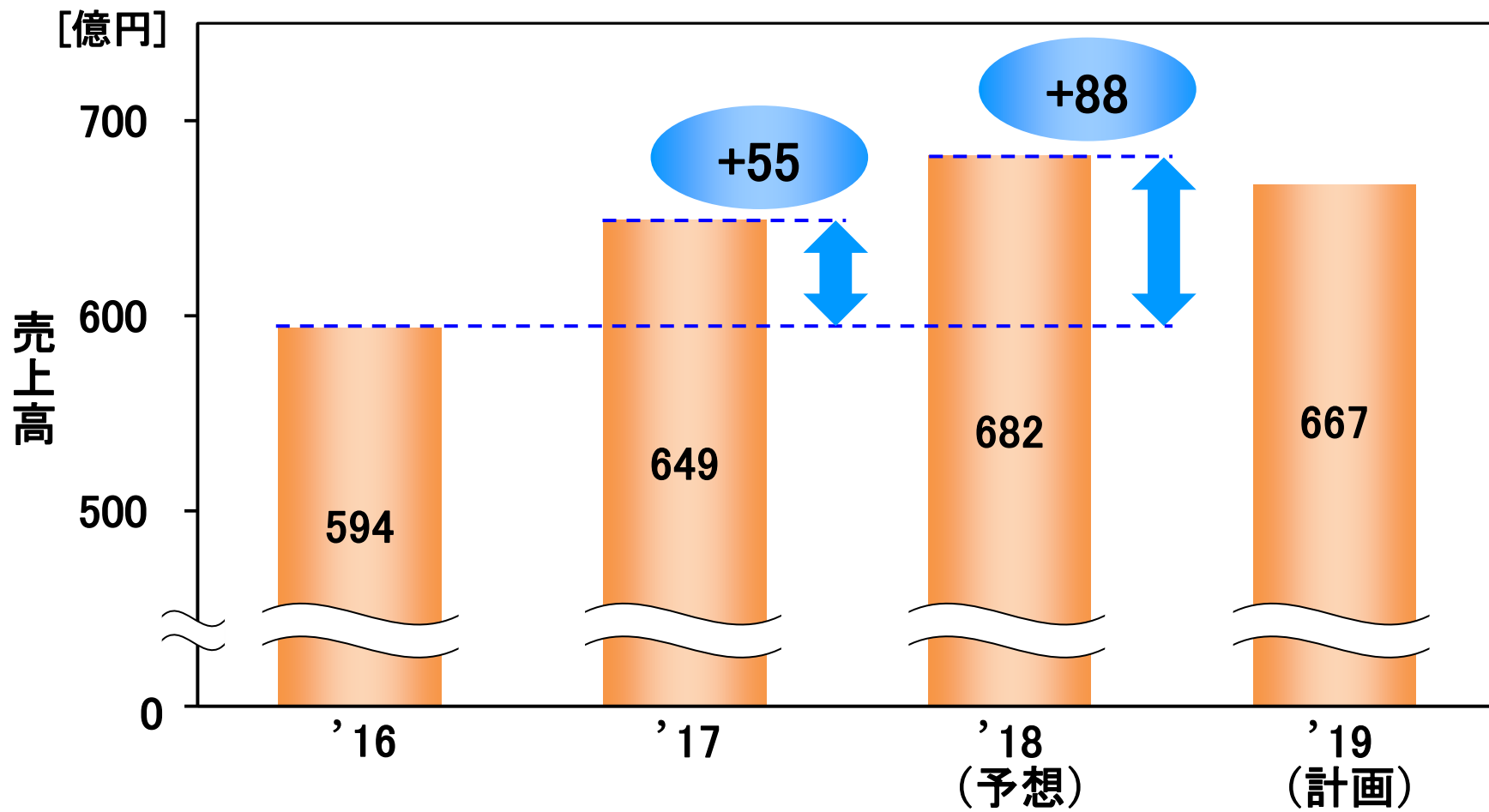
4

CSR活動の推進

# 1-1. 新製品開発

重点施策	2019中計	2017年度 (実績)	2018年度 (予定)
研究テーマの拡大と新製品上市の加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外での産官学連携による研究テーマ拡大</li> <li>・研究開発要員の増強による製品開発のスピードアップ</li> </ul> <p>研究開発要員 対2016年度 +10%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究での新技術導入(共同研究 43件)</li> <li>・技術ロードマップに基づく将来テーマ探索</li> </ul> <p>研究開発要員 対2016年度 ±0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマ件数の拡大</li> <li>・若手研究員の国内外の大学への派遣</li> <li>・研究開発者のローテーションによるシナジーの発揮</li> </ul> <p>研究開発要員 対2016年度 +5%</p>
研究開発費	累計225億円	67億円	72億円

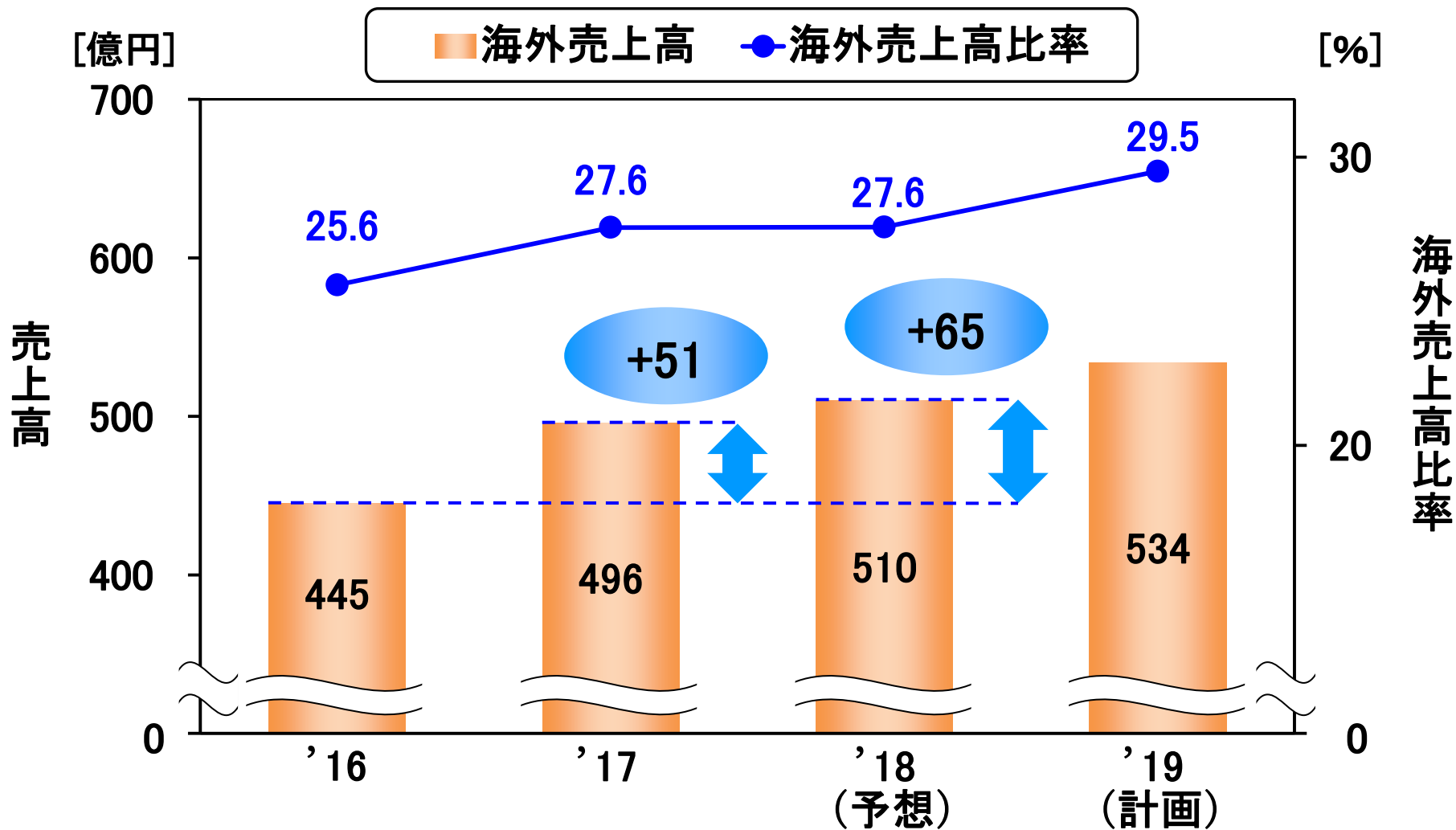
# 1-2. 高機能・高付加価値製品の売上高



## 1-3. 海外事業展開

重点施策	2019中計	2017年度 (実績)	2018年度 (予定)
海外営業体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外営業要員の増強 対2016年度+10%</li> <li>・ナショナルスタッフの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手を含めた増強実施 対2016年度+6%</li> <li>・北米、欧州、中国での活用推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北米、欧州、中国での活用推進</li> </ul>
海外売上高の拡大	対2016年度 +20%以上	対2016年度 +51億円(+12%)	対2016年度 +65億円(+15%)
高機能・高付加価値製品の拡販	海外売上高 287億円	269億円	276億円

# 1-4. 海外売上高の実績・計画





# 2-1. 生産性向上の取り組み

## 1. 設備投資の推進

- ・目指す3分野への設備投資の推進
- ・高機能・高付加価値製品の生産能力の増強

## 2. 生産性向上の推進

- ・全ての業務効率の向上
- ・省力化投資、自動化投資の推進
- ・コスト削減の徹底



機能化学品  
製造設備(尼崎)

項目	2019中計	2017年度 (実績)	2018年度 (予定)
設備投資 ※	累計260億円	57億円	78億円
減価償却費	累計160億円	49億円	52億円

※ 検収ベース

## 2-2. プロジェクトの推進

・IoT、AI等の技術を利用した生産性向上を検討するプロジェクト推進

分野	対象テーマ
生産	・データ解析による安全・品質・生産性向上 ・生産計画の最適化
研究	・研究開発支援
業務	・RPA ※ の利用による業務効率の向上

※ Robotic Process Automation

## 3. グループ経営の強化

### 1. グループシナジーの発揮

- ・資産の有効活用
- ・固有技術の相互利用

### 2. 経営およびリスク情報の管理強化

- ・グループガバナンスの強化
- ・事業継続計画（BCP）の推進

### 3. 人財育成

- ・人財グローバル化の推進
- ・人財交流およびローテーション



グローバル・コンプライアンス  
マニュアル



海外展示会出展  
(米国、欧州、中国など)

## 4. CSR活動の推進

CSR活動項目	
 組織統治	 RC活動
 個の尊重	 社会との共生

日油グループは、安全とコンプライアンスを  
重要な経営課題と位置づけ、徹底

「信頼され存在感のある企業グループ」の実現

# 2019中計 計画値

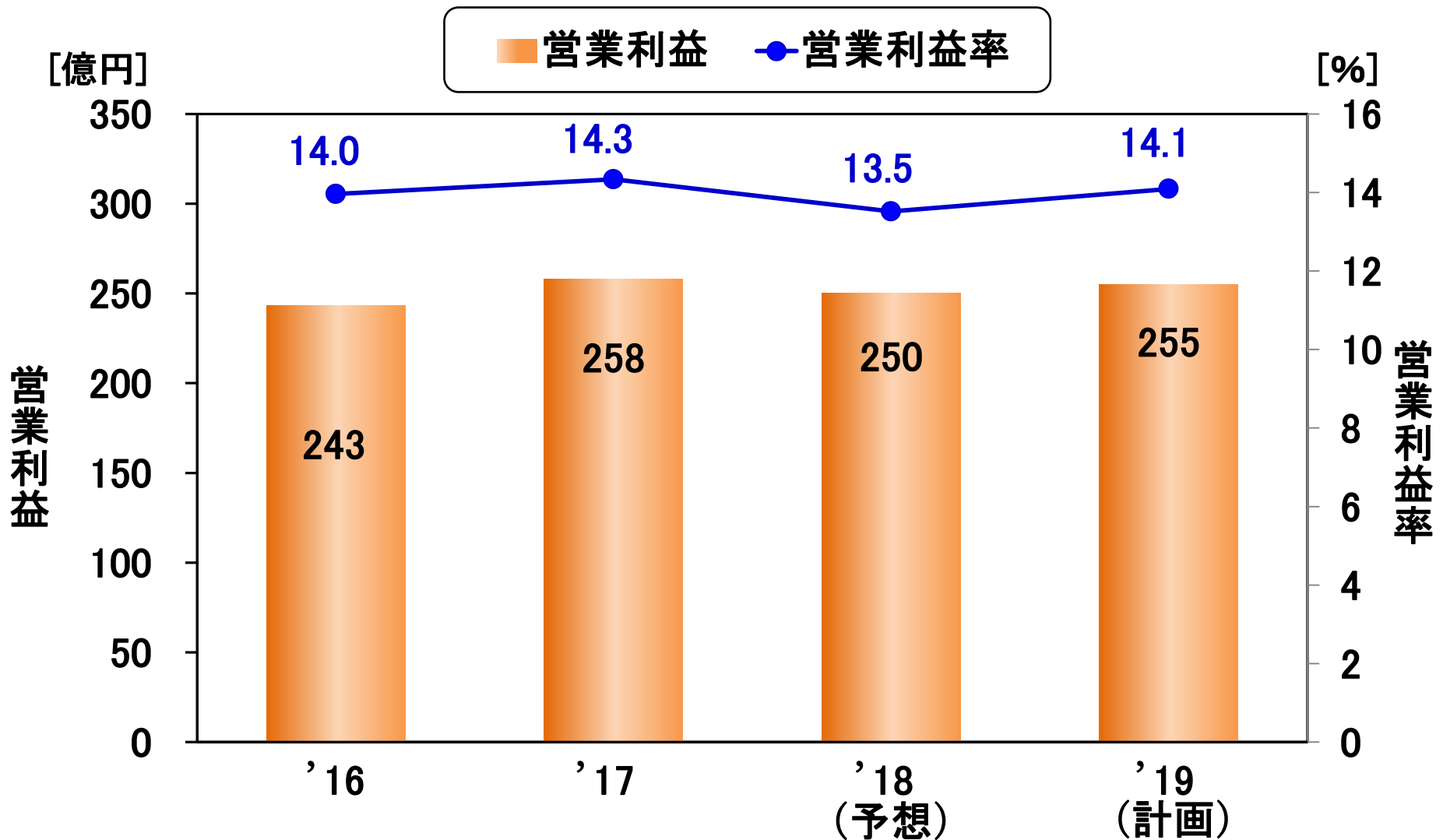
[単位:億円、%]

	2017年度 実績	2018年度 予想	2019年度 計画
売上高	1,799	1,850	1,810
営業利益	258	250	255
売上高営業利益率	14.3	13.5	14以上
ROA ※1	12.1	11.0	—
ROE ※2	12.4	10.7	—

※1 ROA:総資産経常利益率

※2 ROE:自己資本当期純利益率

# 営業利益・営業利益率の推移



# バイオから宇宙まで

From the Biosphere to Outer Space



# 日油

NOF CORPORATION



- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先 : 日油株式会社 経理部 IR室 石垣良一  
住 所 : 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号  
電 話 : 03-5424-6651  
F A X : 03-5424-1482  
ホームページ : <http://www.nof.co.jp>